

## 第3回 京北地域小中一貫教育校検討協議会

◇日時 平成28年10月12日（水）19：30～

◇場所 京北合同庁舎 大会議室

1 はじめに

2 前回の協議内容の確認

資料1

3 第1回施設整備検討部会の内容確認

資料2

4 協議

通学安全検討部会の設置について

資料3

5 その他

4 小中学校PTA会長・3 保育所保護者会長会の報告

6 次回の日程について

## 第2回（7／21）の協議内容

### 1 教育構想（素案）について

教育委員会から、サマースクール等を活用し、3小学校の子どもたちが混じったグループ学習やクラス分け授業の体験など授業交流の促進をはじめ、保育所、府立北桑田高校との一層連携した取組など、今からできることは積極的に取り組む。また、統合後は「施設一体型小中一貫教育校」として、京北の豊かな自然や歴史、文化等を活かした特色ある取組をさらに充実・発展させ、確かな学力を培い、京北地域から未来を切り拓く子どもの育成を目指した教育活動を展開していくことを説明。

### 2 施設整備の方向性について

4小中学校の敷地条件を踏まえ、周山中学校が「京都市立中学校最大の面積を有している」「代替グラウンドが確保できるため、既存グラウンドに新築する場合、工事による生徒の教育活動への影響が最も少ない」「隣接する元周山小学校敷地も合わせて活用が可能である」ことから、周山中学校敷地を施設整備計画候補地とすることを確認。

具体的な施設整備の検討に当たっては、検討協議会構成員以外に、3保育所保護者会長や4小中学校PTA本部役員等が参画する「施設整備検討部会」を立ち上げ、ワークショップ等で検討していく。

### 3 通学安全について

教育委員会から、現在のスクールバスの運行状況や統合により遠距離となる児童生徒の通学について、教育活動に支障がないよう公費負担により登下校に必要なバスを確保するなど通学方法の基本的な考え方を説明。

今後、「通学安全検討部会」を立ち上げ、通学方法等について、地域や保護者の意見を踏まえて丁寧に検討していく。

### 4 PTA会長・保育所保護者会長会について

子どもたちの学校生活に関わる課題等について検討する「4小中学校PTA会長・3保育所保護者会長会」を8月に発足。

構成は、4小中学校PTA会長、3保育所保護者会長、4小中学校校長、3保育所所長に参画いただき、教育委員会も説明等で出席する。

## 第 1 回施設整備検討部会（ワークショップ）の内容について

### 1 日時・場所

平成 28 年 9 月 1 日（木）19：30～21：00 京北合同庁舎 大会議室

### 2 出席者

検討協議会メンバー，4 小中学校 P T A 役員・教頭，保育所保護者会長  
京都市教育委員会・都市計画局，(株) 類設計室

### 3 説明概要（教育委員会）

第 2 回検討協議会で確認された新校舎の整備計画候補地である周山中学校の敷地概要のほか，法面の安全確保のため元周山小校舎・体育館は除却すること。生徒の学習環境を維持しつつ整備を進めるため現サブグラウンドに新校舎を建築し，新たにグラウンドを整備することや，狭隘な周山中敷地進入口（接道部分）の拡幅等を検討する。

### 4 グループワーク

地域や学校の枠を超えた 4 つのグループ編成に分かれ，「京北らしい学校とは」について自由に意見を述べ活発に話し合いを行い，最後に各グループを代表し 4 小中学校 P T A 会長から新校への夢や希望を発表。

### 5 各グループからの主な意見

自然環境や 森林資源を活かす	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木材を使った温かみのある校舎，明るく，風通しの良い校舎，天体観察できる校舎</li> <li>・自然エネルギーの利用，ペレットストーブの設置</li> <li>・広場・庭園</li> </ul>
学年間の交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全校児童生徒と一緒に食べられるランチルーム</li> <li>・小中一緒の広い図書室，小中交流できるスペース</li> </ul>
地域開放	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域も使える図書室，地域や P T A が活用できるスペース</li> <li>・ナイター設備，駐車場の確保</li> <li>・開かれた学校</li> </ul>
安心・安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バリアフリー，ストレッチャー入庫可能なエレベータ</li> <li>・バスロータリー</li> <li>・雨に濡れない施設間の移動，積雪・凍結対策</li> </ul>
防災	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の設備の確保，防災機能型体育館</li> </ul>
郷土・文化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地産地消の給食</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南向きの教室</li> <li>・タブレット等の I C T の充実</li> <li>・広い体育館，屋内プール</li> <li>・床暖房</li> <li>・清潔なトイレ</li> </ul>

### 6 今後の予定

第 2 回 1 0 月（校舎等の配置検討）  
第 3 回 1 1 月（諸室配置と外観デザイン）  
第 4 回 1 2 月（基本計画案のまとめ）

## 「通学安全検討部会」の設置について〈案〉

京北地域小中一貫教育校検討協議会規約第 4 条及び第 8 条に基づき、子どもたちの通学に関する協議を円滑に行うため、「通学安全検討部会」を設置する。

## 1 通学安全検討部会名簿

〈21名：敬称略〉

6 自治会代表	勝山 正昭	周山自治会長
	岡本 義博	宇津自治会長
	高乗 政廣	弓削自治会長
	辻 実智之	細野自治会長
	林 寛	山国自治会長
	三間 恭二	黒田自治会長
P T A 代表	人見真一郎	27年度京北第一小学校 P T A 会長
	西川 聡子	28年度京北第一小 P T A 会長
	樋口 泰弘	27年度京北第二小学校 P T A 会長
	江後 大介	28年度京北第二小 P T A 会長
	中道 知圭	27年度京北第三小学校 P T A 会長
	宮下 稔	28年度京北第三小 P T A 会長
	田中 正則	27年度周山中学校 P T A 会長
	山本 春人	28年度周山中 P T A 会長
保育所代表	森 知子	28年度周山保育所保護者会長
	小谷口さくら	28年度ひかり保育所保護者会長
	坂森 亜希子	28年度弓削保育所保護者会長
学校長	藤田 弘明	京北第一小学校長
	佐々木 猛	京北第二小学校長
	田村 淳	京北第三小学校長
	新井 保	周山中学校長

## 2 検討期間

平成 29 年度中を目途とする。

## 3 「第 1 回通学安全検討部会」の開催

平成 28 年 11 月中旬頃

○協議事項（予定）

- ・基本的な考え方、現状説明 他

## 通学安全について

### 1 通学方法の基本的な考え方

- (1) 学校統合により、遠距離となる児童について、教育活動に支障の無いよう、公費負担により登下校に必要なバスは確保する。
- (2) 具体的には、今後、検討協議会に設置される予定の専門部会「通学安全検討部会」で検討を進める。

### 2 京北地域における通学の現状

■	スクールバスの運行……京北ふるさと公社に委託【詳細は(1)参照】 28年度現在、京北地域では5路線(京北第一小、京北第二小)、2臨時便(京北第三小の短縮日等、4校の校外活動等の移動)のスクールバスを運行している。 ※5路線のスクールバスは、平成11年度の学校統合に伴い運行され、現在に至っている。なお、5路線のスクールバスのうち3路線は住民も利用できる。
■	平成11年度の学校統合以前から遠距離通学として定められた地域については、その地域の児童生徒は、路線バスを使用している。【詳細は(2)参照】 例…熊田、下熊田地域(元周山小地域)、周山中の遠距離生徒
■	冬季のみ路線バスで通学している児童がある。【詳細は(3)参照】
■	周山中学校は自転車通学を認めている地域がある。(五本松、百ノ角、下、鳥居地区)

#### (1) スクールバスの運行

No.	対象校	対象地区	距離 時間	利用 人数	乗車 定員	車両	備考
1	京北 第一小	矢代線(矢代・宇野地区)	約11km 約25分	7人	15人	バス	住民利用可
2		細野線(細野長野地区)	約10km 約20分	5人	29人	バス	住民利用可
3		細野線(細野余野地区)	約8km 約20分	11人	29人	バス	住民利用可
4		宇津線(宇津地区)	約15km 約30分	21人	29人	バス	
5	京北 第二小	山国黒田線(黒田地区)	約12km 約20分	7人	26人	バス	
臨時	京北 第三小	田貫線(田貫地区)	約6km 約10分	1人	10人	ワゴン 1台を 適宜利 用	短縮授業日の下校時のみ (年間20回程 度)
	小3校 中1校	通学以外の学校教育活動 (校外活動・中学校部活動等) の移動		(随時)			

※京北第三小の田貫地区児童は通常は路線バスに乗車

〈参考〉平成 11 年度に 6 小学校を 3 小学校に統合

- ・周山小，細野小，宇津小⇒京北第一小学校（元周山中グラウンド跡）
- ・山国小，黒田小⇒京北第二小学校（元山国小跡）
- ・弓削小⇒京北第三小学校（元弓削小跡）

(2) 遠距離通学の児童生徒

京北町時代に定められた地域について，バス通学を認めている。

なお，バスは 8 路線あり，スクールバスの利用も含めた人数は下表のとおり

(28 年度乗車人数)

校名	路線名	宇津線	矢代線	長野線 (細野)	余野線 (細野)	弓削線	小塩線	黒田線	田貫線	計
	種別									
京北 第一小	ふるさとバス	6	4	〈混乗〉	〈混乗〉					10
	スクールバス	21	〈混乗〉7	5	11					44
京北 第二小	ふるさとバス						1			1
	スクールバス							7		7
京北第三小	ふるさとバス								1	1
周山中	ふるさとバス	10	5	5	3	8	21	5	24	81
計		37	16	10	14	8	22	12	25	144

- ・田貫線と弓削線については，一部路線が重複しているが基本は田貫線に乗車。同様に小塩線と黒田線についても，一部重複しているが基本は小塩線に乗車

(3) 冬季のみ路線バスで通学している児童

京北町時代から，積雪等を考慮し冬季のみバス通学を認めている地域

五本松地区（京北第一小）	7名
下地区（京北第二小）	7名
塩田地区（京北第三小）	3名
井崎地区（京北第三小）	4名
上川地区（京北第三小）	0名
計	20名

\*乗車期間は，11月～3月の5ヶ月

3 学校統合により，遠距離となる地域（京北第二小・京北第三小校区）

○周山中を起点とした距離・時間

校区	バス停	距離	時間
京北第二小	灰屋口	約 15km	28分
	小塩	約 11km	22分
京北第三小	上川	約 10km	18分
	田貫公民館前	約 9km	17分

\*バス停は，現在，児童生徒が居住する最遠地域

\*時間はふるさとバスの時刻表から算出

〈参考〉「京北地域内公共交通事業者連絡会議」

現在、京北地域の公共交通の利便性の向上や効率化を図るため、「京北地域内公共交通事業者連絡会議」を開催し、都市計画局歩くまち京都推進室、右京区役所京北出張所、教育委員会調査課、京北病院、社会福祉協議会、京北ふるさと公社等の公共交通の関係者が集まり、京北地域の公共交通のあり方を検討している。

〈取組例：社会実験〉

- ①周山駅と地下鉄太秦天神川駅のJRバス運行
- ②北桑田高校生を対象とした狭間谷ルートの帰宅便の運行（料金200円）
- ③スクールバスとふるさとバスが同じ路線を走る「宇津線」の一本化社会実験。（スクールバス乗車児童がふるさとバスに乗車）  
\*具体的には、「京北ふるさとバスたより」などで情報発信。

京北ふるさとバス路線図(8路線)…別紙